

10 次世代施設園芸の取組拡大

【2, 501 (2, 540) 百万円】

対策のポイント

次世代施設園芸の取組を拡大するため、次世代施設園芸への転換に必要な技術について、習得のための実証・研修や地域展開を支援するとともに、次世代型大規模園芸施設の整備とその成果やノウハウの分析・情報発信を支援します。

<背景／課題>

- ・施設園芸は野菜等の周年安定供給に貢献するとともに、所得の向上と地域の雇用創出が見込まれる有望な部門です。
- ・農家数が減少傾向にある中、野菜等の供給力を確保するため、高い生産性を実現しているオランダの施設園芸も参考に、①周年・計画生産が可能な高度環境制御技術、②地域エネルギー活用・省エネルギー化技術、③雇用型の生産管理技術の全てに取り組む「次世代施設園芸」を拡大していく必要があります。

政策目標

施設作トマトの1割以上で次世代施設園芸を実践

<主な内容>

1. 次世代施設園芸拡大支援事業 501 (1, 040) 百万円

(1) 次世代施設園芸技術習得支援事業

次世代施設園芸への転換を加速化するため、高度環境制御技術及び雇用型の生産管理技術について、温室の低コスト化の要素を取り入れた実証・改良、実証温室での研修受入等により習得する仕組みづくりや、各地域への展開を支援します。

(2) 次世代施設園芸地域展開促進事業

次世代施設園芸の要素技術を習得した農業者向けに、次世代施設園芸拠点の成果に関するセミナー等の情報発信、拠点を活用した研修等の人材育成、次世代施設園芸拠点のノウハウを分析・整理した手引きの作成等を支援します。

補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：生産者・民間企業・都道府県等から構成されるコンソーシアム等

2. 強い農業づくり交付金（優先枠） 2, 000 (1, 500) 百万円

高度環境制御技術と地域エネルギー活用・省エネルギー化技術を活用した次世代型大規模園芸施設の整備について、優先枠を設置して積極的に支援します。

交付率：都道府県へは定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）
事業実施主体：都道府県、市町村、農業者の組織する団体、事業協同組合等

お問い合わせ先：

生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室 (03-3593-6496)

次世代施設園芸の取組拡大

【平成29年度予算概算決定額 2,501(2,540)百万円】

- 次世代施設園芸の取組拡大に当たっては、次世代施設園芸への転換に必要な技術を習得した農家が少ないこと、大規模な次世代施設園芸は多額の資金やまとまった用地の確保等が必要となることが課題。
- このため、2つのアプローチで次世代施設園芸の取組を拡大。
 - ① 次世代施設園芸への転換の加速化に向けた技術習得のための実証・研修や地域展開を支援。
 - ② 次世代型大規模園芸施設の整備とその成果やノウハウの分析・情報発信を支援。

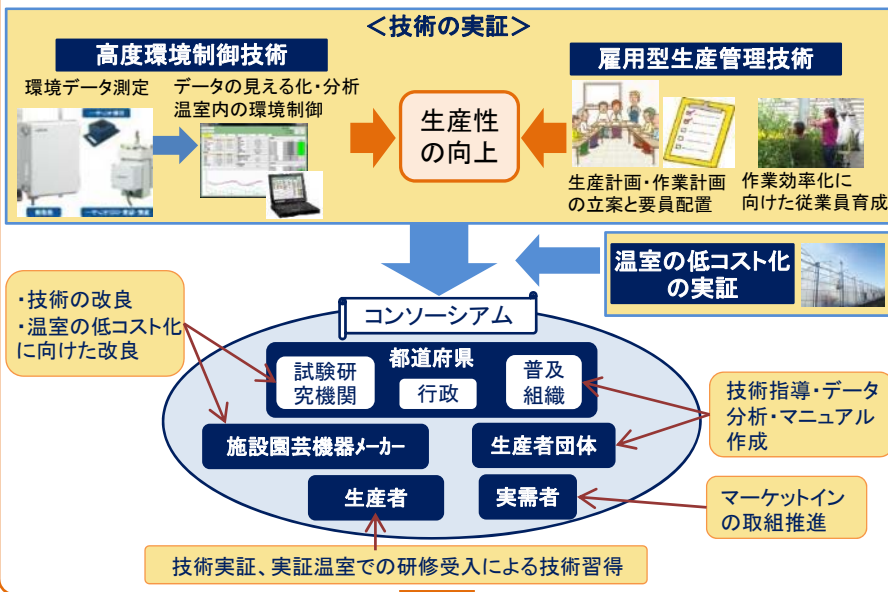
①次世代施設園芸への転換の推進

次世代施設園芸拡大支援事業 (次世代施設園芸技術習得支援事業)

- 次世代施設園芸への転換の加速化に向けた**技術の実証・改良**、実証温室での**研修受入**等により**地域で技術習得する仕組みづくり**や、**各地域への展開**を支援。

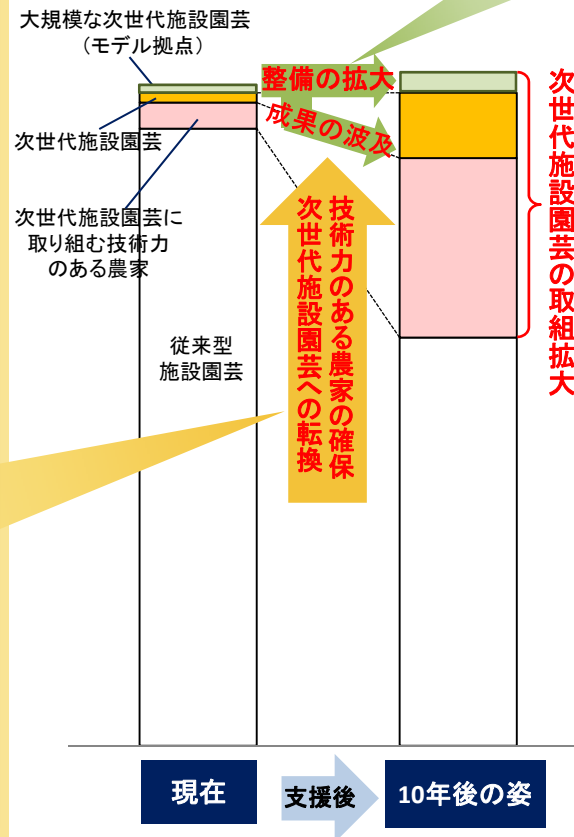
次世代施設園芸技術を習得する仕組みづくり

コンソーシアムによる技術の実証、研修等を実施。



コンソーシアムが実証の成果を各地域に普及

次世代施設園芸の取組拡大のイメージ



②大規模な次世代施設園芸の推進

強い農業づくり交付金 (次世代施設園芸優先枠)

- 高度環境制御技術と地域エネルギー活用・省エネルギー化技術を活用した**次世代型大規模園芸施設の整備**を支援。



生産から出荷までの施設の集積

次世代施設園芸拡大支援事業 (次世代施設園芸地域展開促進事業)

- 次世代施設園芸拠点の**成果に関するセミナー**等の**情報発信**等の拠点の取組を支援。
- 次世代施設園芸拠点の**ノウハウ**を分析・整理した**手引き**等の作成を支援。

